

■ **故障かな？と思ったら** ※修理を依頼される前に、もう一度次の点をお調べください。

診 断	点 検	処 置
・ 風量スイッチボタンを押してもレンジフードファンが回転しない ・ 照明を「入」にしても照明が点灯しない	・ 分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか ・ 電源プラグが外れていませんか	・ ブレーカーを「入」にしてください ・ 電源プラグを差込んでください
・ 運転中に異常音や振動がする	・ ファンが正しく取付けられていますか ・ フィルターが正しく取付けられていますか ・ 外からの給気が十分ですか	・ 取付け直ししてください ・ 窓・給気口を開け十分な給気を確認してください
・ 回転が遅い ・ 回転が不規則	・ 運転を停止してください	・ 修理を依頼してください
・ 焦げた様な臭いがする	・ 運転を停止してください	・ 修理を依頼してください

■ 仕様

定格電圧		AC100V/50・60Hz
モーター		4極コンデンサー誘導式
照 明		3.5W
特 性	風量（換気量）	550/560m³/h（50/60Hz, 0Pa）
	モーター消費電力	93/99W（50/60Hz）
	騒音	00/00/00dB（弱/中/強）
	外形寸法	900 mm(W)×630 mm(背壁)・620 mm(横壁)・670 (天吊)(D)
主要部品材質	本体・装飾カバー・フィルター・ファン組立品	ステンレス／スチール製

■ **アフターサービス**

※製品の保証期間は、お買上後正常のご使用状態において1年間です。
ご不明な点や修理に関するご相談はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフードファン
型式	FLCシリーズ
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	修理依頼先のご住所
お名前	修理依頼者及び取付先氏名
電話番号	修理依頼者のご連絡先
訪問ご希望日	

取付日：	年	月	日
販売店名・連絡先印			

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

○経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体に行っています。

【設計上の標準使用期間とは】

○運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用できる事ができる標準的な期間です。

○設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

【経年劣化とは】

○長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化を言います。

!

【製造年】

本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】

10年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【標準使用条件】

日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設定	取付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ※ 台所 2,410時間/年	

注）※ 常時換気（24時間連続換気）のものは8,760時間/年とする

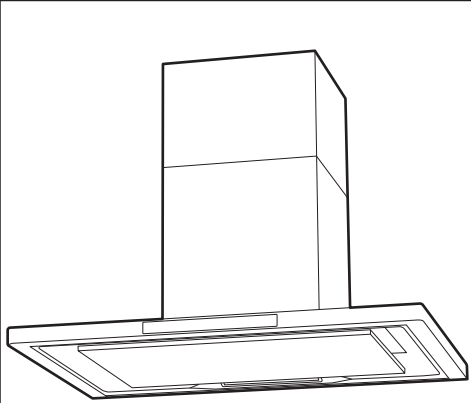
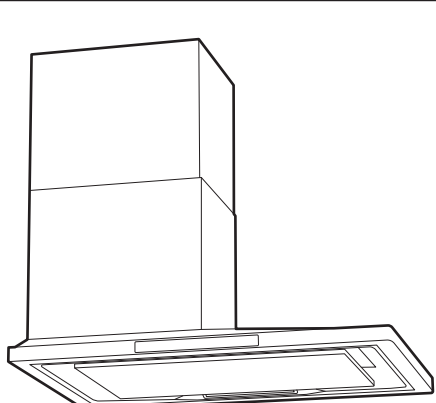
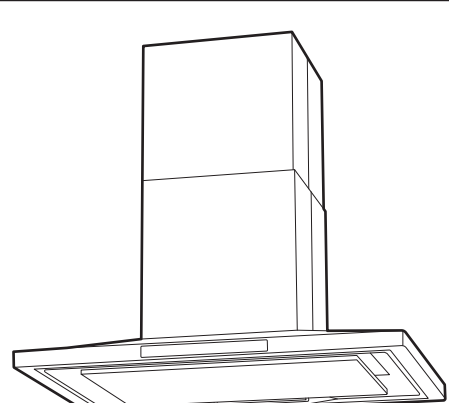
発売元 株式会社TJMデザイン
本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
TEL 03-3969-6836

www.tjm-rangehood.com

■ 製品に関するお問い合わせは
株式会社TJMデザイン **03-3969-6836**
[受付時間] 月曜日～金曜日 9:00～17:45 ※平日12:00～13:00/祝日・当社指定休業日を除く

■ **修理に関するお問い合わせは**
タジマメンテナンスセンター 0120-146-655
 [受付時間] **月曜日～金曜日 9:00～17:30** ※平日12:00～13:00/祝日・当社指定休業日を除く
A02955

レンジフードファン **取扱説明書** FELICEシリーズ

背壁取付タイプ	横壁取付タイプ	天井取付タイプ
		
FLCK-90シリーズ	FLCY-90シリーズ	FLCT-90シリーズ

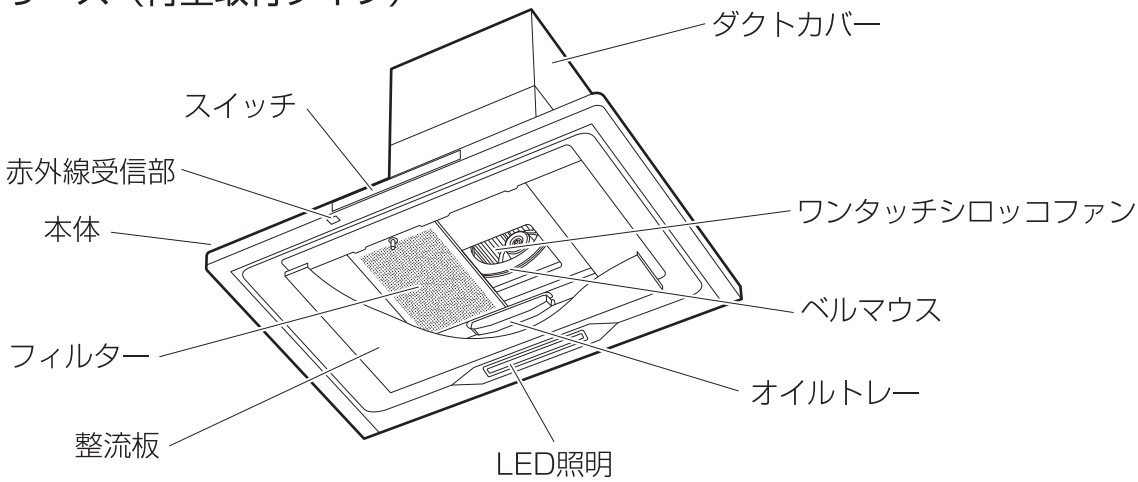
このたびは、レンジフードをお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、いつでも活用できるように大切に保管してください。

■もくじ

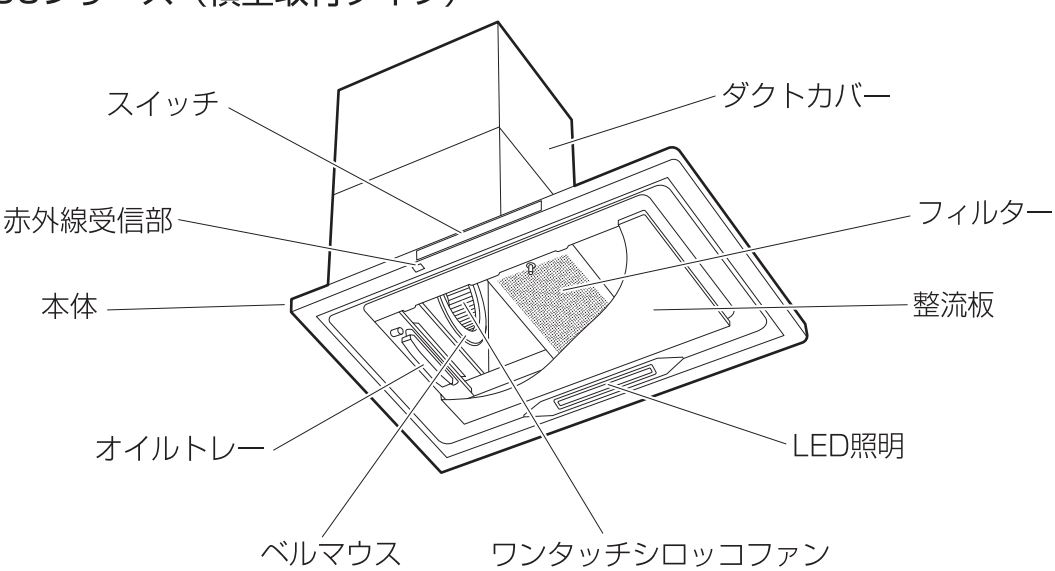
各部の名称	2
安全上のご注意	3
使用上のご注意	4
ご使用方法	5
操作スイッチ	5
運転・風量スイッチ	5
切・ロックスイッチ	5
自動停止スイッチ	6
照明スイッチ	6
時間表示	6
キッチンタイマー	7
カウントダウンタイマー	7
カウントアップタイマー	8
時計	8
操作音の設定	9
調理器連動機能	9
調理機器との連動	9
お手入れのしかた	10
故障かな？と思ったら	12
仕様	12
アフターサービス	12
長期使用製品安全表示精度に基づく本体表示について	12

■ 各部の名称

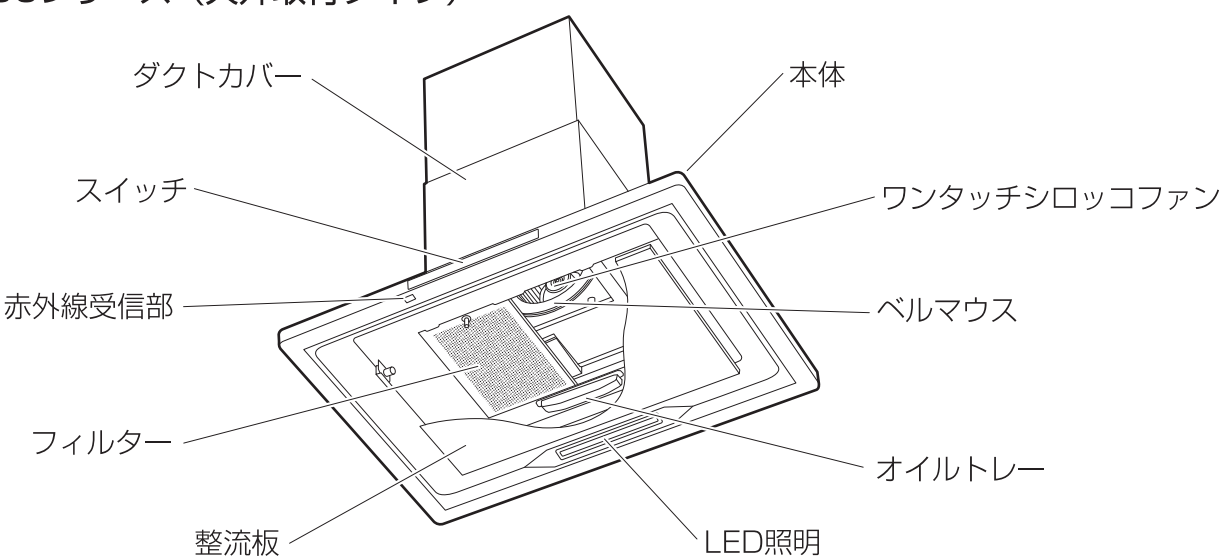
●FLCK-90シリーズ（背壁取付タイプ）



●FLCY-90シリーズ（横壁取付タイプ）



●FLCT-90シリーズ（天井取付タイプ）



■ 安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさの程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を ⚠警告・⚠注意 の2つに区分しています。

- ⚠警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意：人が傷害を負う可能性および物的被害のみの発生が想定される内容。

絵の表示については次のような意味があります。

接触禁止	電源プラグを抜く	分解禁止
水掛け禁止	一般的な事項	使用禁止

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告

- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常動作のためけがをすることがあります。
- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。感電のおそれがあるので、濡れた手で電源プラグの抜き差し、スイッチを操作しないでください。
- 電源部品は、水につけたり水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
- 電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。絶縁不良により火災の原因になります。
- 電気工事、管工事は関連する法令・規定に従い、必ず有資格者が作業してください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートによる発火の原因になります。
- 運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れないでください。ファンや部品の取付けは確実に行ってください。落下によりけがをするおそれがあります。
- LED照明およびその周辺に手を触れないでください。高温のためやけどをするおそれがあります。
- 点灯中のLED照明を直視しないでください。目を痛めるおそれがあります。
- レンジフードの上に物を置かないでください。落下によりけがをしたり火災や故障の原因になります。
- レンジフード本体にぶら下がったり、もたれたりしないでください。落下してけがをするおそれがあります。
- 設置工事は必ず専門の工事業者に依頼してください。
- AC100V以外では使用しないでください。火災の原因になります。

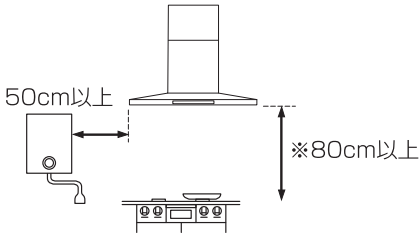
■ 使用上のご注意



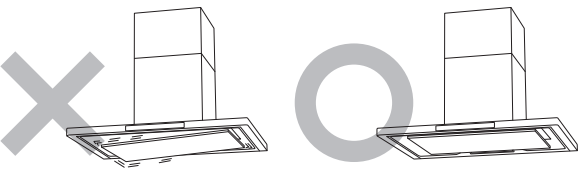
運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れないでください。けがのおそれがあります。
以下の点をご確認のうえ正しくお使いください。
※LED照明を点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されますと雑音が入る場合があります。
その際はテレビやラジオを遠ざけるかテレビやラジオの向きを変えてください。
※LED照明は明るくなるまで時間がかかる場合があります。また、点灯後しばらくは明るさや光色が若干変化します。
※市販のフィルターに交換したり重ねて使用しないでください。吸い込みが悪くなり異音・振動が発生する場合があります。
※性能を維持するため専用のフィルターをご使用ください。
※キッチンの気温が低いときに使用された場合、レンジフードの表面が結露する場合があります。
結露した場合は拭き取ってください。
※テレビ・エアコンなどのワイヤレス発信器を操作しているときは、調理器連動機能が正常に動かないことがあります。故障ではありません。
※赤外線受信部と照明器具を近づけすぎないでください。1m以内に設置された場合、調理器連動機能が正常に動かないことがあります。
※直射日光が当たるなど極端に明るい場所に設置しないでください。赤外線の信号が妨げられ、動かないことがあります。

❶ 温度が高くなりすぎると製品の故障の原因になります。
図の寸法が守られているか確認してください。またガス湯沸器等の真上に取付けないでください。

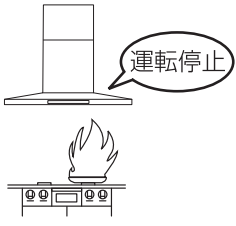
※防火性能評定品のガス調理機器または特定安全IH調理器適合品のIH調理器との組み合わせにおいてのみ、60cm以上で設置することが可能です。



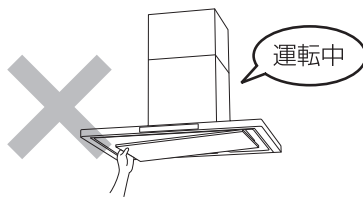
❷ 整流板やフィルター等の部品取付けが不十分な場合、振動したり、異常音を発生したりします。確実に取付けられているか確認してください。



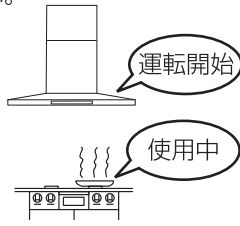
❸ 誤ってフライパンなどの油に火が点いたときは、ガスを消すと同時に、レンジフードファンの運転を停止してください。運転していると火の勢が強くなり、危険です。



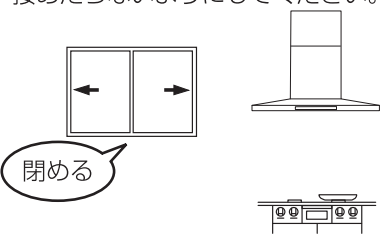
❹ 運転中に整流板やフィルターを外したり、回転中のファンに手を触れないでください。※けがのおそれがあります。



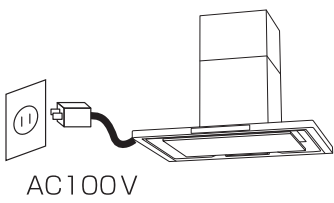
❺ 調理器具の使用中は、必ずレンジフードファンを運転してください。運転しないと本体内の温度が高くなり、故障の原因となります。また調理器具を長時間空焚きの状態で使用しないでください。



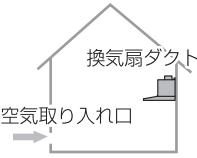
❻ レンジフードファンは風の影響を受けやすいので、付近の窓を閉めて使用してください。またエアコンの風が直接あたらないようにしてください。



❼ 配線工事は専門の電気工事に依頼してください。電源はAC100Vをご使用ください。AC200Vは使用できません。



❽ レンジフードの運転中は給気を行ってください。空気を取り入れが不十分だと換気性能が低下したり、レンジフードに異常振動が発生する場合があります。気密性の高い部屋では、レンジフードを作動させた際にドアなりやストーブの異常燃焼が起こるおそれがあります。そうでない部屋であっても給気には十分な配慮をしてください。

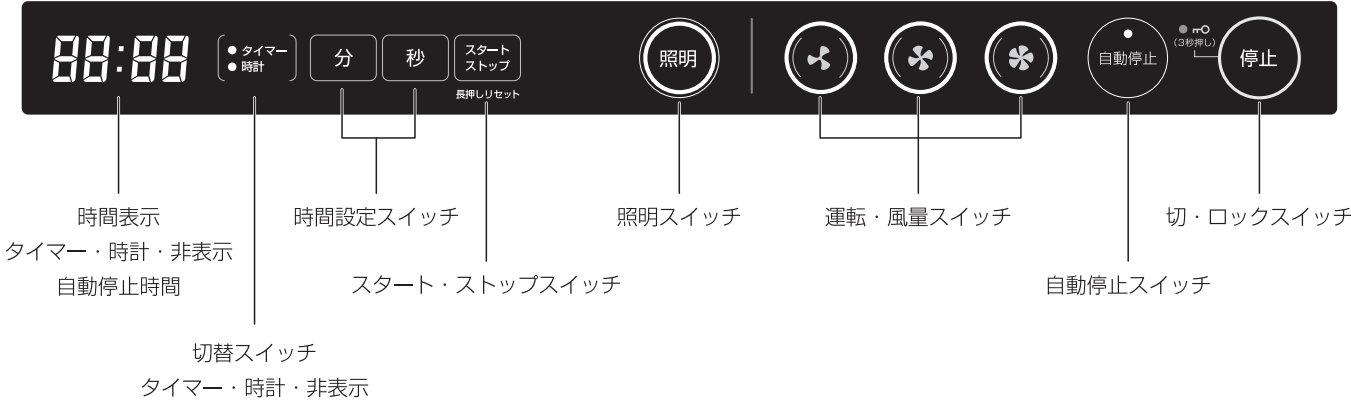


■ ご使用方法

● 操作スイッチ

- ・このレンジフードは、操作スイッチに軽く触れるだけで操作ができるタッチスイッチを採用しております。
- ・スイッチを操作するときは、スイッチの枠内を1つずつゆっくり確実に触れてください。
- ・※同時に複数のスイッチに触れた場合は、操作を受け付けません。
- ・このレンジフードには最後に操作したときから300分（5時間）運転し続けると自動的に運転を停止、照明を消灯する『切り忘れ防止』機能が付いています。
- ・※再び運転するときは、“運転・風量スイッチ” “照明スイッチ” に触れてください。

（図は全点灯表示）



● 運転・風量スイッチ

- ・レンジフードのファン運転スイッチです。
- ・ファン停止状態でスイッチを押すとファンの運転を開始します。
- ・ファン運転状態でスイッチを押すと運転風量が変わります。

運転目安		
運転モード	表 示	こんなときにご使用ください
弱		煙の少ないとき 静かに運転したいとき
中		通常の運転のとき
強		煙の多いとき 早く換気したいとき

● 切・ロックスイッチ

- ・“停止” スwitchを押すことでファンの運転が停止します。
- ・“停止” スwitchを3秒長押しすることで、スイッチがロックしスイッチ操作を受け付けなくなります。

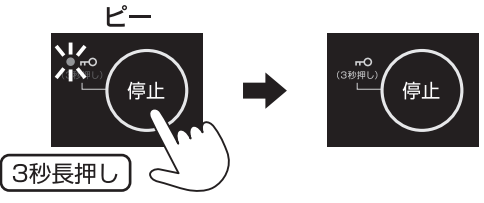
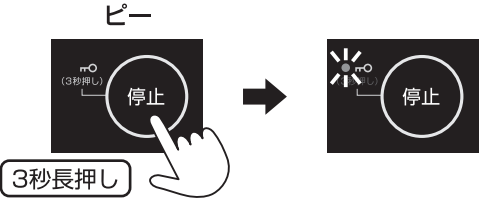
ロック機能をONにする

“停止” スwitchを3秒以上長押しすることでスイッチがロックします。
ロックしている際は、 横にあるサインランプが点滅します。
お願い：お手入れを行う際は、必ずロック機能をONにしてください。

ロック機能をOFFにする

“停止” スwitchを3秒長押しすることによりロックが解除されます。
ロック解除後は、 横にあるサインランプが消灯します。
お願い：ロック機能を解除した直後に、自動でタッチ操作検出感度の調整（1秒間）を行います。
時間表示部に“CAL”と表示されている間は、スイッチに触れないようにしてください。

スイッチアイコン



●自動停止スイッチ

・レンジフードを運転中“自動停止”スイッチを押すことでファン運転が一定時間稼働後自動停止します。

設定方法

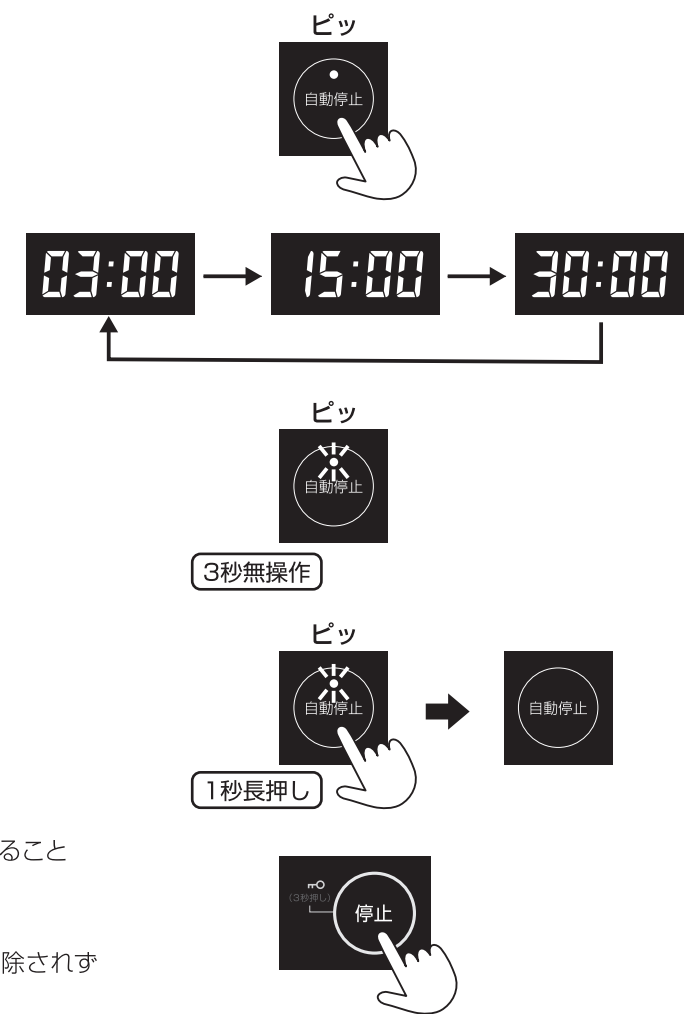
- 1 自動停止時間を設定する
ボタンを押す毎に 3分 ⇒ 15分 ⇒ 30分 ⇒ 3分・・・と時間が切り替わります。
(時間表示に時間が表示されます)
- 2 自動停止時間を起動させる
停止させたい時間が表示された後(停止時間が点滅)、3秒無操作で自動停止機能が起動します。
自動停止機能起動中は、サインランプが点滅し自動停止機能が起動します。

自動停止機能の解除

自動停止機能起動中“自動停止”スイッチを1秒長押しすることで自動停止機能を解除することができます。

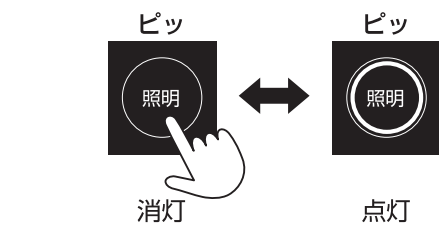
自動停止機能中の運転停止

自動停止機能起動中“停止”スイッチを押すとファン運転を停止することができます。
ファン運転の停止に併せて、自動停止機能も解除されます。
※自動停止機能起動中、他風量ボタンを押すと自動停止機能は解除されず運転風量のみ変更されます。



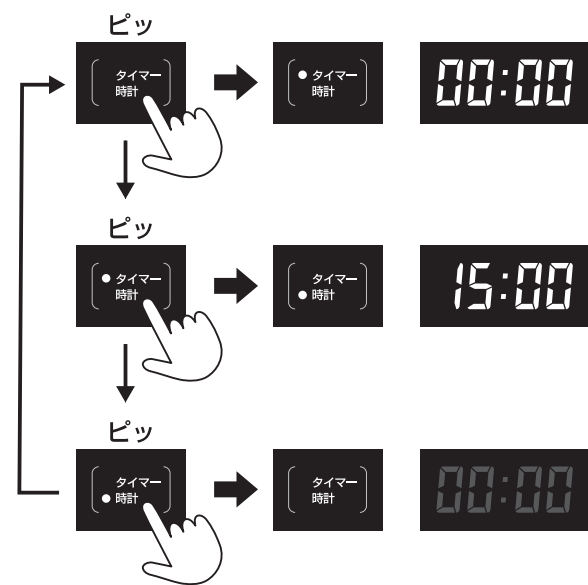
●照明スイッチ

・“照明”スイッチを押すことで照明が点灯します。
スイッチを押す毎に点灯／消灯が繰り返します。



●時間表示

・キッチンタイマー機能および時計機能がついています。
・“切替”スイッチを押す毎にキッチンタイマー → 時計表示 → 非表示 → キッチンタイマー・・・と表示が切り替わります。
※キッチンタイマー稼働中に“切替”スイッチを押すと3秒間“時計表示”を行い、その後キッチンタイマーに戻ります。
※キッチンタイマー稼働中および時計表示中に“自動停止”スイッチを押すと3秒間“設定時間表示”を行い、その後元の表示に戻ります。



●キッチンタイマー

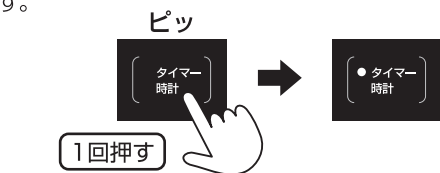
・調理の際などにご使用いただける便利なキッチンタイマーがついています。
タイマー機能には下記の2種類があります。

カウントダウンタイマー

・設定した時間になるとアラーム音でお知らせします。
・時間を設定することができます。
※設定可能時間は最大99分59秒までです。
※“タイマー設定モード” および “一時停止中” に10分間無操作の場合は自動で非表示になり、設定時間は00:00に戻ります。

設定方法

- 1 タイマー設定モードにします。
“切替”スイッチを押してタイマー設定モードに変更します。
タイマーモードの際はタイマー横のサインランプが点灯します。
- 2 時間を設定します。
『分』・『秒』スイッチで時間を設定します。
長押しすることで早送りとなります。
(0.5秒毎に5分/5秒が追加)
※『分』・『秒』の設定は独立しており、秒を加算し続け60秒を超えても『分』には反映されず0秒に戻ります。
(例: 00:00⇒00:01⇒00:02…00:59⇒00:00⇒ 00:01…)



一時停止

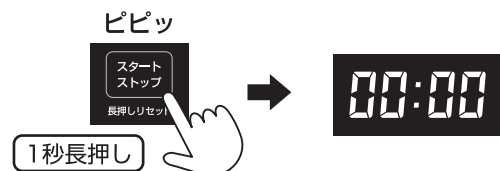
タイマー起動中に“スタート・ストップ”スイッチを押すことで一時停止することができます。

再起動

タイマー停止中に“スタート・ストップ”スイッチを押すことでカウントダウンタイマーが再起動します。

設定時間のリセット

“スタート・ストップ”スイッチを1秒長押しすることで設定時間をリセットすることができます。
リセット後はタイマー設定モードに移行します。
※カウントダウン中も長押しで設定時間のリセットができます。



- 3 タイマーを起動させます。
“スタート・ストップ”スイッチを押すとカウントダウンタイマーが起動します。



- 4 カウントダウンが終了すると表示時間が点滅しアラーム音が鳴ります。アラーム音は 30 秒間鳴り続けます。
止めるときは“スタート・ストップ”スイッチを押してください。
2の設定時間が再表示されます。
※設定時間終了後、無操作の間カウントアップタイマーが起動します。

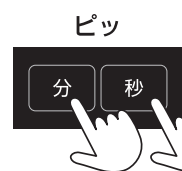


時間の追加

- 1 カウントダウンタイマーを停止させます。
タイマー起動中に“スタート・ストップ”スイッチを押すことでカウントダウンタイマーが停止します。



- 2 時間を追加します。
『分』・『秒』スイッチで時間を設定します。



- 3 タイマーを起動させます。
“スタート・ストップ”スイッチを押すとタイマーを起動します。

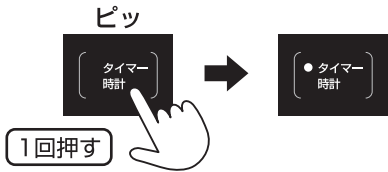


カウントアップタイマー

- ・スイッチに触れた時点から00：01、00：02…のように経過時間を表示します。
- ※表示可能時間は最大99分59秒までです。
- ※時間の設定はできません。
- ※ “タイマー設定モード” および “一時停止中” に10分間無操作の場合は自動で非表示になり、設定時間は00：00に戻ります。

設定方法

- ① タイマー設定モードにします。
“切替” スイッチを押しタイマーモードに変更します。タイマーモードの際はタイマー横のサインランプが点灯します。



- ② タイマーを起動させます。
タイマー設定モード（設定時間00:00）で “スタート・ストップ” スイッチを押すとカウントアップタイマーが起動します。

一時停止

カウントダウンタイマー “一次停止” と同様です。
（7ページを参照してください。）

再起動

カウントダウンタイマー “再起動” と同様です。
（7ページを参照してください。）

時間のリセット

カウントダウンタイマー “設定時間のリセット” と同様です。
（7ページを参照してください。）

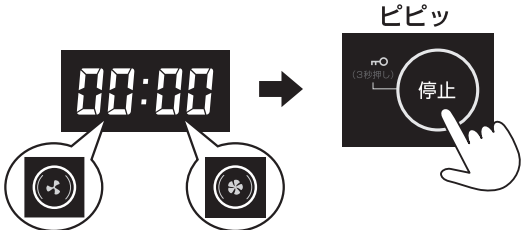
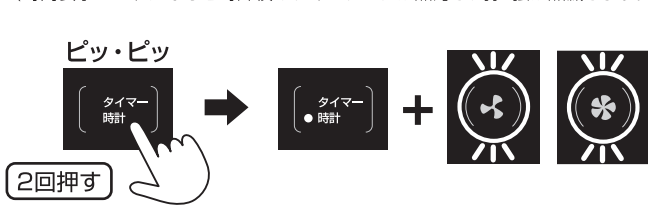
時計

- ・現在時間を表示します。（時計精度目安：±60秒／月）
- お願い：停電時やブレーカーを切った場合、電源プラグをコンセントから抜いた場合は設定時間がリセットされますので都度時刻の設定を行ってください。

時刻の合わせかた

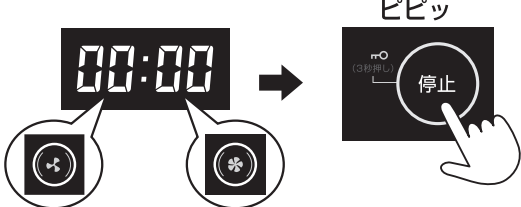
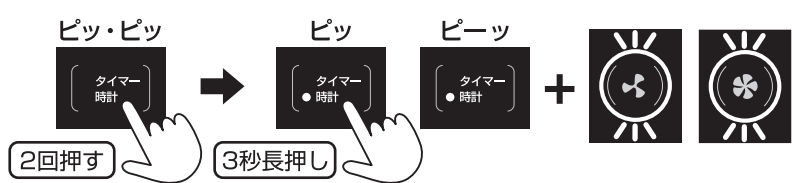
初期設定（初期使用時or停電後の復帰時などファン運転していない場合）

- ① ファンが停止していることを確認してください。
- ② 時間表示モードにします。
“切替” スイッチを2回押し時間表示モードにします。
自動で時間調整モードが起動します。
（時間表示モードになると時計横のラインランプが点灯し、弱・強が点滅します。）
- ③ 現在時間を設定します。
“弱” スイッチで『時』、“強” スイッチで『分』を時間を設定し
“停止” スイッチで決定します。
※長押しすることで早送りとなります。
※30秒無操作で自動で決定します。



時間再設定

- ① ファンを停止させます。
“停止” スイッチを押し
ファン運転を停止させます。
- ② 時間調整モードにします。
“切替” スイッチを2回押した後、切替スイッチを3秒長押しし
時間調整モードにします。
（時間調整モードになると時計横のラインランプが点灯し、弱・強が点滅します。）
- ③ 時間を決定します。
“弱” スイッチで『時』、“強” スイッチで『分』を時間設定し
“停止” スイッチで決定します。
※長押しすることで早送りとなります。
※30秒無操作で自動で決定します。
お願い：初期使用時または停電後の復帰時などにファンを運転しながら時計表示をした場合、00:00で時刻が設定されるため
“時間再設定” の手順に従い時刻設定を行ってください。

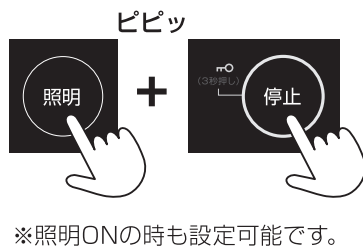


●操作音の設定

- ・各スイッチを押す毎になる操作音のON/OFFを切り替えることができます。
- ※初期設定は操作音はON設定となっています。

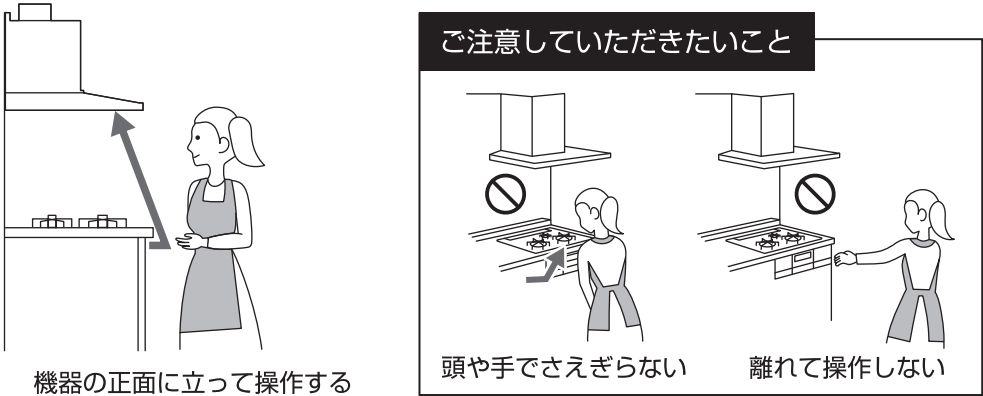
設定方法

- ・ファンを停止させてから設定してください。ファンが稼働していると設定できません。
- ・操作音設定のON／OFFを切り替える
“照明” スイッチを押しながら “停止” スイッチを押し、3秒間長押しした後に、同時に離します。
ピピッと操作音が鳴り設定がOFFに切り替わります。
再度同様の操作を行うと操作音の設定がONに切り替わります。



●調理機器連動機能

- ・調理機器から送信される赤外線信号をレンジフードが受信し、自動的に運転を行います。
- ・調理機器から約20～40cm離れ、機器の正面に立って操作してください。
- ・レンジフードはNECフォーマットの赤外線信号（38KHz）を受信し稼働します。
対応する調理機器は限定されますので、詳しくは調理機器の取扱説明書をご確認いただくか、もしくは調理機器メーカーにお問い合わせください。
- ・レンジフードがロック状態では、調理機器スイッチを操作しても運転を開始しません。
その際はロック機能を解除してください。解除方法は 5ページ “ロック機能をOFFにする” を参照してください。



調理機器との連動

調理機器をONにすると

- ・調理機器を点火（加熱）操作すると、中風量で運転を開始します。
- ・運転開始後、風量切替スイッチを操作することにより風量の切り替えや停止することができます。
※風量切替は 5ページの運転・風量スイッチを参照してください。
- ・調理機器点火（加熱）前に自動停止機能が稼働している場合、調理機器をONにすると自動停止機能が解除されますのでご注意ください。

調理機器をOFFにすると

- ・調理機器を消灯（切）操作すると、自動停止機能が稼働します。
※自動停止機能は3分で稼働します。
- ・自動停止運転が終了するとレンジフードの運転を終了します。
- ・自動停止機能のタイマー時間は手動操作で3分・15分・30分で設定可能です。
時間設定方法は 6ページの自動停止スイッチを参照してください。

レンジフードの動作（連動運転）	レンジフード側で可能な操作（手動運転）
調理機器を点火（加熱）操作すると、中風量で運転を開始します。	運転・風量スイッチ：風量切替 切スイッチ：運転停止 自動停止スイッチ：自動停止の設定・解除
調理機器を消灯（切）操作すると、自動停止機能が稼働します。	照明スイッチ：照明の入/切 切替スイッチ：タイマー・時間の表示

■ お手入れのしかた

警告

電源部品は、水につけたり水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。

お手入れの際は、“切・ロック”スイッチを3秒以上長押しし機能ロックをONにしてください。

機能ロックをONにせずにお手入れを行いますと、不意にスイッチに触れファンが稼働し、ケガにつながる恐れがあります。

感電のおそれがあるので、濡れた手で電源プラグの抜き差し、スイッチを操作しないでください。

注意

※部品の取外し・取付けは、落下させないように両手でしっかりと支えながら行ってください。

※落下防止のため部品の取付けは確実に行ってください。

※60℃以上の熱湯は使用しないでください。

※中性洗剤を使用してください。（洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みください。）

※あまり汚れないうちに掃除してください。

※ファンモーター部には直接洗剤などをかけないでください。

※必ず手袋を着用してください。

※取外しの際は、油ダレに十分ご注意ください。

お願い：お手入れを行う際は、必ずロック機能をONにしてください。

清掃後はロック機能を解除してください。ロック機能を解除した直後に、自動でタッチ操作検出感度の調整（1秒間）を行います。時間表示部に“CAL”と表示されている間は、スイッチに触れないようにしてください。

● 普段のお手入れ

本体 整流板

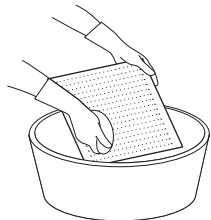
本体・整流板を中性洗剤液に浸した布で汚れを拭き取ったあと、洗剤が残らないよう、水を湿らせた布で洗剤をよく拭き取ってください。



● 定期的なお手入れ

整流板 フィルター オイルトレイ ベルマウス ファン

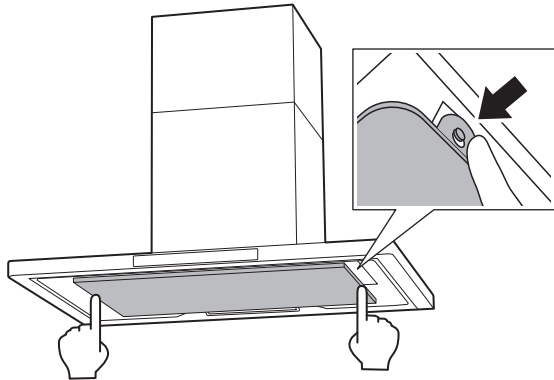
整流板・フィルター・オイルトレイ・ベルマウス・ファンを下記「部品の取外し方」を参考にして取外し、1ヶ月に1度程度、清掃してください。中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した後、やわらかいスポンジなどで洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いをし、よく乾かしてから取付けてください。



● 部品の取外し方

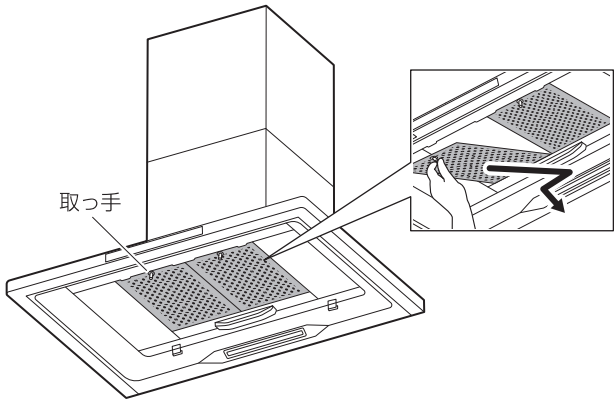
①整流板を外す

整流板を両手で支え少し押し上げるようにしてストッパーを押して引掛部から取外します。



②フィルターを外す

フィルターの取っ手を持って、一度押し込み手前下方向に引いて外します。



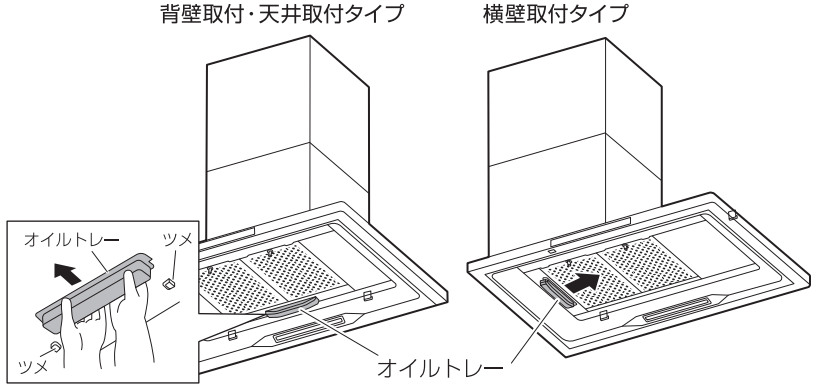
③オイルトレイを外す

背壁取付・天井取付タイプ

オイルトレイを持ち、手前側にスライドさせ取外します。

横壁取付タイプ

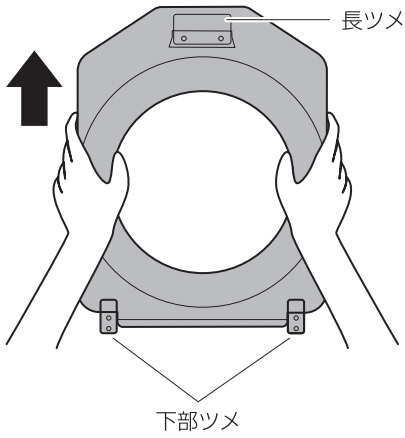
オイルトレイを持ち、本体先端側（横方向）にスライドさせ取外します。



油や水滴が溜まっていますので油ダレには十分ご注意ください。

④ベルマウスを外す

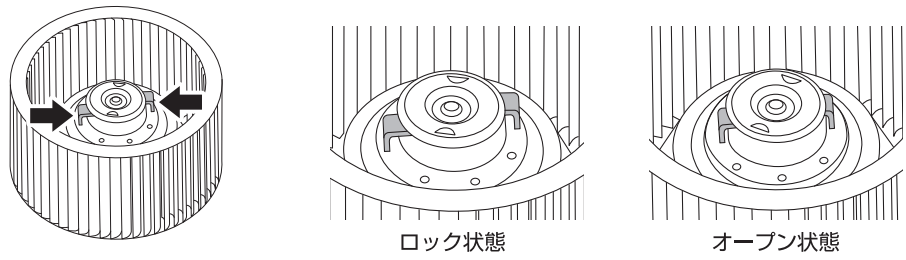
ベルマウスを持ち上方にスライドさせ取外します。



取付けの際は上方の長ツメにしっかり引っ掛かっていることを確認し、確実に上下3つのツメの奥まで差し込み取付けてください。取付けが不十分ですと、異音や振動の原因となり、落下するおそれがあります。

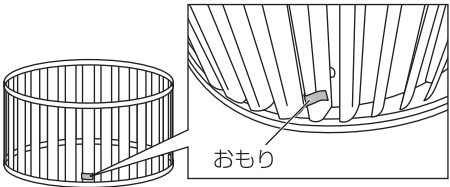
⑤ワンタッチファンを外す

ワンタッチファンにある2箇所のつまみを押しながら、ファンを取外します。



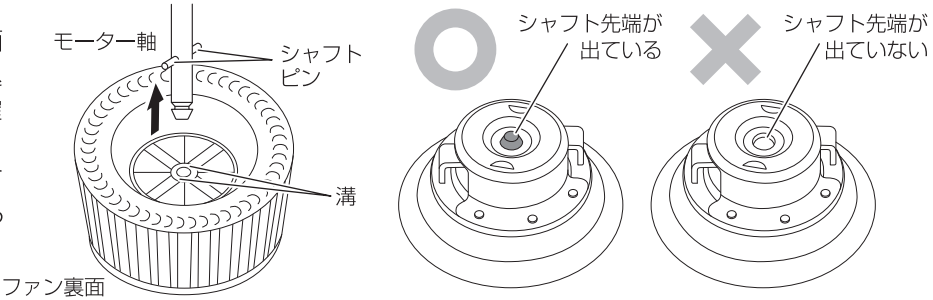
注意!

ファンにおもり（クリップ状の金具）が付いている場合があります。これはファンの回転バランスをとるためのものです。異音・吸い込み不良の原因になるので絶対に外さないでください。



注意！（異音や故障の原因になります。）

ファンを取付ける際には、ファンの裏面の溝がシャフトピンにあうように差し込んでください。また、シャフトピンが確実に奥まで入っていることを確認してください。※シャフトピンが奥まで入っていると、ワンタッチファンの中心部からシャフト先端が突出します。



● 部品の組立て方

組立ての仕方は、取外し方の①～⑤を逆の順で行います。